

令和4年 3月分 会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証明書類	
		品目	支出先		領収書 番号	支払 証明書 番号
1	3月29日	創和会の市議会だよりに係るポストイン ング料	ワイエス(株)	759,066	1	
2	3月29日	創和会の市議会だよりに係る印刷料 3月発行、70,000部作成	やまと印刷(株)	616,000	2	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
月 小 計				1,375,066		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	1
別紙のとおり			
支出目的・内容	創和会の市議会だよりに係るポスティング料		
備 考			

領 収 証

No. 3594

弘前市議会会議会派創和会様

入	金	日
2	3	29

百	千	円
7	5	9066

差引売掛金残高

法	人	C.

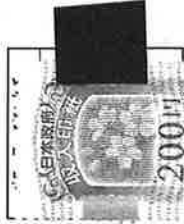
請	求	先	C.
2	2	6	10

上記の金額正に領収致しました

- 現金 小切手 振込 相殺

摘要

- / チャラシ配布料として
 / DM配布料として
 クリップパー 月分として



取	扱



ワイエス株式会社 ミッド事業部

- 青森(営) 〒038-0042 青森市新城市福田57番地 TEL (017) 788-4471
- 弘前(営) 〒036-0233 平川市日沼畠田19-7 TEL (0172) 57-5588
- 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏羅盛岡本94 TEL (0173) 26-7177

本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

請 求 書

22610-S0026 請求No.0000066696
頁

弘前市議会 会派 創和会

御中

ワイエス株式会社ミッド事業部

〒038-0042
青森市大字新城字福田57
TEL.017-788-4471 FAX.017-788-4409
担当者 弘前営業所

請求日 2022年3月29日

下記の通り御請求申し上げます。

前回請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥759,066	¥759,066

項目	品名	数量/単位	単価	金額	消費税
	【議会だよりポストイング】				
1	A3サイズチラシポストイング (事業所含む)	55,332 部	5.00	276,660	27,666
2	A3サイズチラシポストイング (事業所含む) 郊外	13,780 部	30.00	413,400	41,340
			計	690,060	69,006

取引銀行
口座名義

誠に勝手ながら振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	2
---------	-------	-------	---

領 収 証

No 84882

弘前市議会議員
会 長 創 和 会 様

発行日 令和 4 年 3 月 29 日

領 収 金 額	¥	616000
---------	---	--------



品 代	
消費税	
入金内訳	
現金	✓
小切手	(/)
手形	(/)
相殺	

但市議会より印刷代として
上記金額正に領収いたしました。



やまと印刷株式会社



036-8061 弘前市神田4丁目4-5 (0172)34-4111代



支出目的・内容

創和会の市議会だよりに係る印刷料

備 考

令和4年3月発行
作成部数：70,000部
成果品1部添付

請 求 書

2022年 3月 25日

弘前市議会議員・会派創和会 御中

お客様コード 600803

受注番号 2200760-01/01
担当者

約定・都度 No. 004885-1-A

〒036-8061 青森県弘前市田四丁目4-5

やまやま株式会社

代表取締役 佐野 駿一

TEL 0172-331111(代表)

FAX 0172-36-3299

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	消 費 税 等	摘 要
市議会だより(弘前市議会議員・会派創和会) 二つ折	70,000	部	8	560,000	56,000	
■	以	下	■	■		

年度ありがとうございます
LadonのCanKitは、

■ 印刷済紙

税抜金額計

560,000

消費税等計

56,000

御請求額

616,000

弘前市議会議員・会派

創和会の市議会だより

みなさんの声を市政に



会派活動の一コマ

ごあいさつ

創和会 会長 尾崎 寿一 議員



日頃より、弘前市議会会派 創和会の活動にご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

令和2年1月に国内で初めて確認された新型コロナウイルスが瞬く間に全国各地へ広がり、今年度は飲食業、観光業を始め、秋には農業の根幹である主食用米にまでその影響が及びました。

新型コロナウイルス感染拡大防止、地域経済立て直しの観点からも、昨年度に引き続き議会のあり方や、市の対応・支援策について様々な提案をしてまいりました。

今年度もまた一般行政視察や政務活動調査については十分に行うことはできませんでしたが、この紙面を通じて市民の皆様にも少しでも活動の一端をご理解いただきたく、昨年に引き続き当会派による市議会だよりを発行いたします。

今後も会派一丸となって弘前市民の皆様のお声を聞き、市の施策につなげてまいります。

残念ながら会派所属の蛭名正樹議員が一身上の都合で議員辞職をいたしました。

会派としての活動は今後6名となりますが、これからも当会派の活動にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

今回も各議員の一般質問の内容および最終ページには令和4年度の当市の予算概要を掲載いたしましたので、ぜひ参考にさせていただければと存じます。

蒔苗 博英 議員



過去の本会議と予算決算常任委員会の録画映像をご覧ください。

健康増進施策と夢ある園づくりについて

短命県返上の対策として、健康増進に係る市の取り組みについての質問に対し、市民の健康寿命の延伸を目的とした、健康づくりのための活動を2～3年継続実施している市民の企業、団体、サークル等に対し、4年度から表彰制度を設け表彰し、健康づくりに係る意識の向上と他への波及効果により、市民全体の健康づくりの取り組み推進が図られ、市民の健康寿命の延伸や医療費の節減等に繋げると答弁をいただきました。

また、本市の農業の活性化を図るため、わい化高密度植栽培やAIによるロボット草刈り機等新たな取り組みで園地の夢ある活性化が求められることから、当局としても経費助成に取り組んでもらいたいと要望したところ、新年度からわい化高密度植栽培については、国の50%に市の補助25%のかさ上げに対応してもらいました。

将来を担うこれからの若い生産者に夢と希望の園地づくりにぜひ利用して頂きたいと思っております。

野村 太郎 議員



過去の本会議と予算決算常任委員会の録画映像をご覧ください。

倉敷市観光振興プログラムについて

倉敷市観光振興プログラムについての視察研修について報告します。岡山県倉敷市は美観地区をはじめ、児島地区のゾーン産業等様々な観光資源を有し、年間520万人以上が訪れる県下有数の観光都市です。観光産業は他の様々な産業に対する経済波及効果が見込まれる産業であり、倉敷市の経済発展の原動力となると看做されています。この観点から倉敷市は平成28年に観光振興プログラム(第1期)を作成し、令和3年に第2期計画を策定しました。倉敷市も長期滞在型観光、所謂「稼ぐ観光」が課題であり、2期計画においては、魅力ある観光地域の形成、広域観光の推進、誘致・プロモーション活動の強化、受入環境の充実、外国人観光客の誘致拡大の5つを基本戦略としていくとのことでした。倉敷市は当局と同様の課題に対し独自戦略を策定し実施しています。当局においても同様の取り組みの実施を働きかけていきます。

木村 隆洋 議員



過去の本会議と予算決算常任委員会の録画映像をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策について

3回目のワクチン接種について、今後の見通しについて

令和3年12月より医療従事者等を対象に接種を開始しており、2月28日現在、接種対象者に占める接種率は46.4%で着実に接種が進んでいる。さらに接種の加速化を図るために、毎週土曜日に鳴海病院において集団接種を行っており、5月末には18才以上のほとんどの希望者が3回目の接種を終えられる見込みとなっている。

その他、ひろさき事業復活支援金についてはスポーツ団体等も対象とすること、当局においてもPCR検査センターを直ちに設置すること、コロナ関連の市独自の積極的な情報発信を要望した。

尾崎 寿一 議員



過去の本会議と予算決算常任委員会の録画映像をご覧ください。

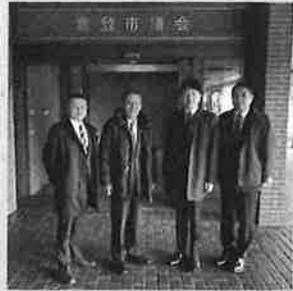
りんご産業の労働力不足対応について

りんご生産において、人手を要する摘果、葉取り、収穫期などが特定の時期に集中することから、地域全体で労働力需要が集中し補助労働力となる人材の確保が困難になっている。

そこで、市職員の兼業を許可することができないか問う。

補助労働力不足解消の一助となることを目的に、市の職員が兼業として休日等にりんご生産アルバイトを行える仕組みについて本年10月から運用できるよう現行制度設計中でありますとの答弁をいただきました。

労働力不足の解消につながるだけでなく、職員が市の基幹産業であるりんご生産を学ぶ機会となり、人材育成にもつながることから職員の皆様には積極的参加を期待する。



会派活動の一コマ

蛸名 正樹 議員

(令和4年2月17日付 辞職)



過去の本会議と予算決算常任委員会の録画映像をご覧ください。

令和3年第2回定例会

- 1 新型コロナウイルス危機管理体制及びワクチン接種の進捗状況と今後の取組について。
- 2 市立病院閉院へのロードマップについて。
(1) 病院職員の再雇用の見直しについて。
(2) 新中核病院運営への市の関わりについて。
- 3 大森勝山遺跡の世界遺産登録に向けた地域活性化について。

令和3年第3回定例会

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種の状況と今後の取組について。
- 2 災害対策基本法の改正に伴う市防災計画等の見直しについて。
- 3 設計図書積算ミスと契約行為の取扱いについて。

石山 敬 議員



過去の本会議と予算決算常任委員会の録画映像をご覧ください。

集落支援員制度について

私は令和3年第3回定例会一般質問で、「集落支援員制度」について質問をいたしました。

現在、各地域が抱える町会や民生委員などの担い手不足・多忙化に対応するため、集落支援員制度が生まれました。

集落支援員は、県・市町村からの委嘱を受け、市町村職員とも連携しながら、集落への「目配り」として、集落の巡回、状況把握等を行います。

集落点検の実施、住民と住民・住民と市町村との間での話し合いを促進するなど、市町村職員や集落住民とともに、集落対策を推進します。

この集落支援員には財政手当もありますので、活動の専門性が高まります。

弘前市ではまだ導入していないため、制度の導入を求めました。

福士 文敏 議員



過去の本会議と予算決算常任委員会の録画映像をご覧ください。

消防団の組織、施設、設備、報酬等について

問：当市の消防団の現状について

答：当市の消防団は、111分団、団員数1,823名で県内市町村で最大規模となっており、消防車両については、普通ポンプ自動車29台、小型動力ポンプ付積載車74台、警備車8台の計111台を配備しています。

また、年手当は、階級別の職名ごとに、消防団長及び方面団長の78,000円から団員の24,000円までとしているほか、出動手当や訓練手当は1回につき定額の2,000円と定めています。

問：出動手当や訓練手当の国の基準額7,000円に対し、当市の2,000円が平成14年から改正されていないこと認識について

答：団員数の減少や災害対応への負担増を踏まえ、手当の増額を含め、団員の処遇改善は必要であると認識しています。

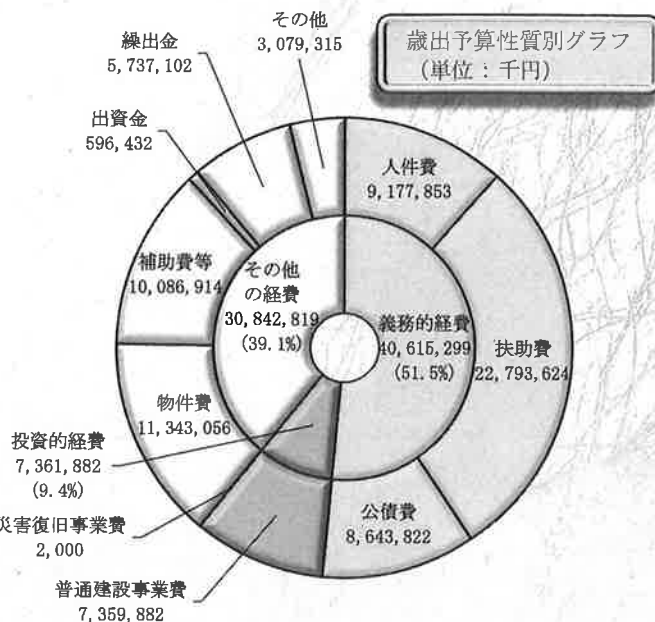
令和4年度一般会計予算の概要

予算総額 788億2千万円
前年度比 23億4千万円 (3.1%) 増

令和4年度の一般会計予算総額は、788億2千万円で、前年度と比較して23億4千万円、3.1%の増となりました。

令和4年度予算では、国立病院機構弘前総合医療センター（仮称）の運営開始が間近となり、市民の安心につながる医療体制が整うことから、次の段階として市民の健康寿命延伸に向けた取組を計上したほか、総合計画前期基本計画の最終年度の取組として、出産・子育て・教育環境の整備、農業の持続的な発展のための生産基盤の整備や経営安定化の促進、さらには、新たな生活様式を踏まえたリモートワークや移住ニーズの高まりに対応するための支援など、事業内容の拡充を含め予算を計上しています。

右のグラフは、性質別の歳出予算を表しています。



令和4年度の主な取組

総合計画リーディングプロジェクトのさらなる推進

健康寿命の延伸に向けた取組の推進

市民協働による取組の推進

中心市街地の活性化に向けた取組の推進

ウィズコロナ、アフターコロナを視野えた地方創生の取組の推進

持続可能な行財政運営への転換

- 健康づくりのまちなか拠点整備事業 63,771千円
- 新規就農者経営発展支援事業費補助金 150,000千円
- 第二中学校校舎改築事業 39,555千円
- 働く女性の健康促進事業 1,000千円
- 不妊治療費助成事業 24,805千円
- 妊婦・乳児健康診査 145,385千円
- 犯罪被害者等支援事業 1,000千円
- ボランティア支援事業 10,909千円
- 地域農業者協働型有害鳥獣駆除活動支援金 500千円
- 弘前でつながる関係人口創出事業 13,810千円
- 商店街魅力アップ事業費補助金 6,000千円
- 歩きたくなるまちなか形成事業 25,000千円
- リモートワーク移住体験モニター事業 2,010千円
- 首都圏若者コミュニティづくり推進事業 2,236千円
- 弘前ねぶた300年祭開催事業 28,000千円
- A I ・ I o T ・ R P A 等先進技術導入検討事業 13,065千円
- 弘前圏域権利擁護支援事業 8,984千円
- 津軽圏域DMO推進事業 15,970千円

発行 会派 創和会

代表者 尾崎 寿一

問合せ先 ishitaka620@gmail.com

この市議会だよりは、会派の広報として、弘前市議会政務活動費の交付に関する条例第五条の規定に基づいて作成しております。